

沼田町は

今年、開拓120年を迎えます。

広報 ぬまた

3月号

2014.3.27 No.577



3月8日(土) 東日本大震災復興支援チャリティー「おんがくの集い」

今月の主な内容

- ★特集「ほたるの里」から東京五輪の星へ・・・2
- ★輝け雪のまちフェスタ・・・・・・・・・・・・4
- ★おんがくの集い・・・・・・・・・・・・5
- ★まちのニュース・・・・・・・・・・・・6
- ★寄付・受賞・監査報告・・・・・・・・・・・・9
- ★農地・水事業・・・・・・・・・・・・10
- ★ふれあい I N F O・・・・・・・・・・・・11
- ★沼田消防から(消報)・・・・・・・・・・・・12
- ★沼田警察署から・・・・・・・・・・・・13
- ★生涯学習ゆめつくる・・・・・・・・・・・・14
- ★図書館から・・・・・・・・・・・・15

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！
また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



特集 「ほたるの里」から東京五輪の星へ

沼田町出身 廣瀬七海^{ななみ}さん（旭川実業高校女子バレーボール部）
『目標が高くなると行動が変わる』



2月16日（日）に、旭川市の旭川実業高校体育館で、沼田町出身の旭川実業高等学校バレーボール部の廣瀬七海（ななみ）さんにお話を伺いました。

廣瀬さんは、沼田町生まれで、体格や身体能力に恵まれている事もあり、友人の誘いで、沼田小学校3年生からバレーボール少年団「リトルポプラ」に入団し、沼田中学校時代には2年連続で中学女子北海道選抜に選出され、平成25年4月に高校女子バレーボールの強豪、旭川実業高校に進学しました。旭川実業高校では、1年春から試合に出場、早くも頭角を現し、インターハイ、「春高バレー」での全国大会出場にエースとして大きく貢献し、全国雑誌である月刊バレーボールでは特集「金の卵」として取り上げられ、将来を囑望されている存在です。

後輩の山田明日希（沼中）さんと



体育館では、道北地域の各地区中学女子選抜の合同練習会として、練習試合が行われていました。沼田中学校の山田明日希（あすき）さんも深川選抜の一員として参加していました。取材当日の廣瀬さんは、他の部員と共に、寮の食事当番でしたが、深川選抜の激励に姿を見せてくれました。

岡本監督と



女子バレーボール部の岡本監督は「最近、バレーボール選手らしくなってきました。これから東京五輪を視野に入れ、成長させて実業団に送り出したいです。」と話してくれました。

また、廣瀬さんは、地元沼田の後輩に「私の中学時代の目標は北海道一の選手になる事で、今の目標は、東京五輪で活躍する事です。目標を高く持つと毎日の行動が変わります。後輩のみんなには中学までに全道や全国大会に行く経験をしてほしいです。」とメッセージを送り、中学までの同級生で宝塚音楽学校の飯田花音（かのん）さんと「将来、同級生の五輪選手と宝塚トップスターとしてテレビで共演したい」と語ってくれました。

輝け雪のまち フェスタ2014

3月8日(土) 9日(日)、旧沼田中学校グラウンドで「輝け雪のまちフェスタ2014」が開催されました。主催は、商工会青年部、北いぶき農業協同組合青年部沼田支部、役場青年女性部で構成される輝け雪のまちフェスタ実行委員会で、今年で12回目を数え、平成14年6月21日宣言の『輝け雪のまち宣言』に謳われている「雪への理解を深め、一人ひとりが雪に親しみ、雪と共存するための活動を進めます。」をより具現化する為に実施されています。

天候は、初日は曇り空で心配されましたが、2日目は晴天でした。

会場は、初日のテープカットの後、お宝巻き、大型滑り台、スノーモービルや雪上大玉ころがり、雪中2人3脚、雪中つな引き、雪合戦等のイベントで賑わいました。

来場者は、各種イベントの合間に、屋台で雪ん子焼きなどのメニューを楽しみながら、元気に友達や仲間と遊んで雪と親しんでいました。



～東日本大震災復興支援チャリティー～

おんがくの集い

3月8日(土)、町民会館で、「東日本大震災復興支援チャリティー」おんがくの集い」が開催されました。

音楽の持つ魅力を通じて、東日本大震災の被災地の復興を支援しようと沼田歌声サークル(ドリーミー♡ぐらんま)と沼田吹ガールズ(NSG)が主催し、昨年引き続き2回目の実施です。

今年は、シダックスグループ主催「ほたる館カラオケフェスタチャンピオン大会」優勝の留萌市在住の神林留美子さんと、「全国歌の甲子園」最優秀歌唱賞の湧別町在住の徳原海さんを迎え、花を添え、約70人が出演しました。会場では、フリーマーケットや飲み物の売店等で華やぎを見せていました。

来場者は、約300人で出演者の保護者や家族、仲間等で、真剣な眼差しで応援をしていました。

なお、主催者の沼田歌声サークル(ドリーミー♡ぐらんま)と沼田吹ガールズ(NSG)より、コンサート諸経費を差し引いた入場料等の全ては、被災地の幼稚園、小、中、高校に対し楽器関連の復興支援を行う「School Music Revival」へ寄付しました。また、同時開催のフリーマーケットの売上全額も「沼田町ふるさとづくり基金」に寄付しました。(関連記事9ページ)



会場の様子



沼田保育園



松坂 結
(Happy Sunday)



吟剣詩舞和翔会



沼田民謡保存会



越中おわら踊り同好会



田中敏夫
(沼田幼稚園長)



竹原靖人
(沼田中学校教諭)



神林留美子
(第一部ゲスト)



沼田吹ガールズ



来場者の皆さん



藤崎 悠
(沼田町商工会職員)



沼田詩吟道場



二胡 牡丹花



ドリーミー♡ぐらんま



徳原 海
(第二部ゲスト)

まちのニュース

Numatatown News

健康の輪が広がる

エンジョイミニバレーボール大会

ぬまたエンジョイスポーツクラブ主催のミニバレーボール大会が2月2日(日)に町民体育館で行われました。

ぬまたエンジョイスポーツクラブミニバレーボール大会は、愛好者同士の交流と健康増進を目的に実施されています。

参加者は、成果を発揮すべく、勝利を目指して、声を掛け合いながらボールを追っていました。

なお、結果は下記のとおりです。

ミックスの部	優 勝：ちょいスポ	準優勝：Ladybug ミックス	第3位：茶組つくす
女子の部	優 勝：スプラッシュ	準優勝：ホワイト	第3位：オレンジブルー
ミドルの部	優 勝：ミドルC	準優勝：ミドルB	第3位：ミドルA



雪に親しむ！

第65回町民スキー大会兼第15回高穂スキー場まつり

2月11日(祝・火)に町営高穂スキー場で、第65回町民スキー大会兼第15回高穂スキー場まつりが行われました。

体育協会が主催し、多くの近隣の住民にウインタースポーツの楽しさを通じて、高穂スキー場の利用促進につなげようと実施しています。

会場は、晴天の下、就学前児童や小中学生及び保護者等の約200名程度の来場で、スキー大会やジャンプ大会、大人スキーレッスン、スノーボード無料レッスン、おしりすべり大会等、盛りだくさんのプログラムで盛り上がりました。

主管団体の渡辺敏昭スキー連盟会長は、「スノーボードの技術レベルが向上している」と講評していました。



例年恒例の

第15回全国地酒まつり

2月14日(金)に、ほろしん温泉ほたる館で、第15回全国地酒まつりが行われました。

東日本大震災復興支援として実施され、会場は、参加した約150名が、全国各地の日本酒を中心に、焼酎やビールやジュースの飲み物やお寿司やモツ煮込み等の食べ物を楽しみながら、希望者による日本酒の味を当てる利き酒ゲームで盛り上がりました。

最後の抽選会では、お菓子等の景品が用意され、抽選に当たった参加者は嬉しそうに会場を後にしました。



地域住民の生命と財産を守り続けて

渡部稔氏叙勲祝賀会

2月16日(日)に、町民会館で、渡部稔氏叙勲祝賀会が開催されました。

渡部氏は、昭和33年に沼田消防団に入団、その卓越した指揮能力が認められ平成10年に全団員の推薦を受けて沼田消防団長に就任され、住民が安心して暮らせる街づくり実現のために尽力し、団員の全幅の信頼を得ています。それらの功績が認められ、平成25年秋の叙勲において、瑞宝双光章を受章しました。

会場には、約220名が来場し、渡部夫妻を祝福しました。



ハーモニカの演奏も なごみで読み聞かせ



2月19日（水）に、沼田町認知症高齢者グループホーム「なごみ」で絵本の読み聞かせが行われました。

図書館では、一人でも多くの住民に本に親しんでもらおうと、定期的に和風園や旭寿園、幼稚園等の施設に出向き、読み聞かせを実施しています。

9名の入所者は、図書館司書の読み聞かせやボランティアの長田さんによるハーモニカ演奏を楽しく鑑賞していました。

妊婦同士の交流を マタニティークラブ



2月19日（水）に、沼田町健康福祉総合センター「ふれあい」でマタニティークラブが開かれました。

マタニティークラブは、出産経験のある妊婦や初めて妊娠している妊婦同士の交流を促し、お互いの情報交換を図る事により、妊娠中の日常生活や食生活の不安を取り除き、妊娠のイメージを持ってもらおうと企画されています。

4名の参加者は、健康相談や栄養相談、妊婦に関する本の紹介、自己紹介、出産に関するDVD鑑賞の後、食生活や妊婦生活に関する講話を聞きながら、最後に小豆のお赤飯やはんぺんのチーズサンドフライ、ほうれん草の海苔和え、たっぷり野菜のお味

噌汁、牛乳寒天といった栄養素がたくさん使用されているメニューを試食し、参加者同士で談笑していました。

安全に効果的に トレーニングマシン講習会



2月24日（月）に、沼田町健康福祉総合センター「ふれあい」でトレーニングマシン講習会が開かれました。

トレーニングマシン講習会は、ふれあいには設置しているトレーニングマシンの利用促進を図ろうと企画しました。

7名の参加者は、健康運動指導士から、マシンを活用するメリットは、目的の筋肉をケガなく鍛えられる事。目的に応じて回数や重さ、速さ等を変更できる事を教わり、使用の心得を学び、今後の目標設定を考えていました。

韓国の学生が沼田町の雪冷熱活用を見学



北海道と友好提携を結んでいる韓国の学生30名と、韓国と交流している日本人学生22名が2月25日（火）北海道との交流事業の一環として沼田町を訪れました。

これは、北海道が実施する事業で、2月20日（木）から3月1日（土）までの間、韓国人学生に北海道に滞在してもらい、北海道のことを学んでもらうことを目的とし、この度、雪冷熱活用の先進地である沼田町を訪れたものです。

学生達は、健康福祉総合センターで金平町長と通訳を交えて懇談。金平町長は「沼田町は雪を上手に活用しています。こういう交流事業で両国の勉強することが必要だ」と学生達に語りかけ、

学生からは「韓国ではこんなに雪が降らないので感動しました。雪をエネルギーに変えるなんてことは、観光で来ただけではわからない。今回、貴重な経験をしています」と興奮気味に話をしていました。

その後学生達は、「雪の科学館」「スノークールライスファクトリー」など雪関連の施設を見学し、雪冷熱エネルギーの活用の説明を熱心に聞いていました。

レプリカ工房でカイギュウ復元骨格が完成

レプリカ工房でカイギュウ復元骨格が2月24日（月）に公開されました。

この復元骨格は、新潟県長岡市立科学博物館から、昨年度に発注を受けた、平成16年の中越地震によって、新潟県長岡市内の崩落した崖から発見された約200万年前のカイギュウです。

沼田町化石館のレプリカ工房では、これまで地元で発見された化石のクリーニングやレプリカ製作以外に、サッポロカイギュウや、長野県のトガクシカイギュウなどこれまで大型のカイギュウ骨格製作に取り組んできた実績が買われ、今回の依頼となりました。

カイギュウレプリカは、その全長は7.3m、最大の幅は2mもあり、作成に1年半を費やし、一目見てその大きさに驚かされます。また、しなやかにカーブする背骨のラインからは、この動物がかつて生きて海の中を泳いでいた様子を想像することができます。

なお、完成した骨格は3月初旬に、現地での組立・展示作業して納品されました。



高齢者の気軽な寄合所

のぞみ会で百人一首

3月3日（月）に、ふれあいで、のぞみ会が開かれました。

のぞみ会は、高齢者同士の触れ合いを促し、健康的な生活を過ごしてもらおうと定期的に開催しています。

8名の参加者は、百人一首愛好者の指導の下、輪になって札を囲み、和気あいあいと楽しんでいました。

愛好者の石脇敏彦さんは、「少しでも楽しんでもらえたら良いです」と話していました。



JA北いぶき女性部沼田支部が料理講習会

3月4日（火）に、ふれあいで、JA北いぶき女性部沼田支部（以下JA女性部）主催の料理講習会が実施されました。

JA女性部では、講師に沼田町食生活改善協議会から管理栄養士や会員を迎え、生活習慣病の予防を目的に、食べ物の色（赤黄緑）が体にどのような影響をもたらすかを考え、会員相互の交流を深めようと企画しました。

JA女性部22名と食生活改善協議会9名の合計31名の参加者は、自己紹介で、それぞれの食へのこだわりを披露しました。

また保健師や管理栄養士の健康栄養について説明を受けた後、食生活改善協議会会員の指導の下、「★身近な食材を使って★簡単スピード料理に挑戦！」と題して、7品のレシピに沿って調理講習を開始しました。

会場の調理室では、参加者は5グループに分かれて、手順やさじ加減をお互いに確認しながら、手際よく調理していました。



身近な問題への理解を深める

沼田長生クラブとの懇談会

3月4日（火）に、ふれあいで、沼田長生クラブとの懇談会が開かれました。

長生クラブと町では、意見交換を通じて相互理解を深めようと、随時、懇談会を実施しています。

今回は、町から、農村型コンパクトエコタウン基本構想や病院の無床診療所化に伴う新たなサービス、予約制町営バスの運行、子供応援団登録のお願いについての説明を行い、長生クラブの会員から疑問点についての質問がありました。

参加した51名の会員は、休憩を含めて2時間30分の予定を超える中でも、町からの応答を真剣に聞いていました。



寄付

ありがとうございました。

JA北いぶき女性部沼田支部が
雑巾を寄付



JA北いぶき女性部沼田支部（渡辺智子支部長）の新役員7名が、役員就任の挨拶と雑巾を寄付する為、2月5日（水）に、町長室を訪れました。
雑巾は、例年、各部員が作成しているもので、渡辺部長は、「高齢者の為に、使ってください」と話してくれました。
今回、寄付いただいた雑巾は、老人ホーム和風園や特別養護老人ホーム旭寿園などで使わせていただきます。

「うたの集い実行委員会」が
ふるさとづくり基金に寄付



3月12日（火）に、歌声サークル「ドリー♥ぐらんま」と吹奏楽サークル「沼田吹ガールズ」が中心で構成された「うたの集い実行委員会」（市橋静代実行委員長）の役員4名が、フリーマーケットの売上金の11,300円を寄付する為、町長室を訪問しました。
フリーマーケットは、3月8日（土）開催「おんがくの集い」の会場で実施しました。（関連記事5ページ）
市橋実行委員長は、「町の発展の為に、活用してください」と金平町長に寄付を手渡しました。

中山勝さんが北海道産業貢献賞を受賞



前沼田町農業委員会会長の中山勝さんが、2月7日（金）に町長室を訪れ、金平町長に北海道産業貢献賞受賞の報告をしました。
北海道産業貢献賞（農業関係功労者）は、多年にわたり北海道農業の発展に貢献され、その功績が顕著な方々の業績を、知事が表彰するものです。
中山さんは、平成5年に農業委員会委員、平成14年から農業委員会会長として、農地利用の適正化と農業生産の安定向上に尽力し、多大な貢献が認められて、この度の受賞となりました。

沼田町監査委員より 定期監査の報告

去る、2月12日から17日まで（土日除く）の4日間、沼田町監査委員による、沼田町会計の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、沼田町のお金が住民のために最小の経費で最大の効果を上げるよう効率的に使われているかなどを監査するもので、更に各課（各委員会）の事務・事業の執行状況についても併せて監査したものです。

結果、12月末現在におきまして平成25年度の事業執行及び財務事務等全般について、適正に執行されていることを報告させていただきます。

沼田町監査委員 金子幸保
" 渡邊敏昭



農地・水保全管理支払事業 「とんぼの未来・北の里づくり対策」活動実施中！

◆「とんぼの未来・北の里づくり対策」とは？

高齢化や過疎化が進行している中、農地や水路などの維持管理や、農村の自然環境・景観を保全していくことが困難になってきています。

このような状況の中、平成19年度から農業者が中心となり、地域ぐるみで水路などの草刈りや周辺の美化などといった効果の高い共同活動と、農業者ぐるみで行う環境に優しい先進的な営農活動を支援する「農地・水保全管理支払事業」が実施されています。

北海道内では、この事業を「とんぼの未来・北の里づくり対策」という愛称で活動を行っています。



◆沼田町での取り組み

沼田町では、この事業が開始された平成19年度から、町全体を東西2地区の活動組織に分け、農業者・非農業者の協力のもと、様々な共同活動を実施しています。



西部地区活動組織
(用水路草刈り)



東部地区活動組織
(水路の泥上げ)

◆交付対象農用地面積

【単位/面積：a・交付金額：千円】

東部地区活動組織 (旭穂台、高穂、更新、共成、東予)		
	面積	交付額
田	148,905	37,970
畑	32,996	2,970
合計	181,901	40,940

西部地区活動組織 (沼田南、中央、北竜、北竜3、幌比里)		
	面積	交付額
田	138,760	35,383
畑	51,274	4,615
合計	190,034	39,998

※交付単価 田 2,550円/10a 畑 900円/10a

◆共同活動の内容

- ①農地、水路等の基礎的な保全管理活動
農地・開水路・農道の点検や草刈り、砂利補充、きめ細やかな雑草対策等、点検活動から実践活動までを行っています。
- ②農村環境の保全のための活動
施設等の定期的な巡回点検・清掃、水田の持つ貯留機能向上活動等を行っています。

お問い合わせ先

東部・西部地区活動組織事務局【電話35-2775】
役場農業振興課【電話35-2114】

フッ素塗布は3月31日まで!

沼田町では、小学校就学前のお子さんを対象に、歯科健診・フッ素塗布（無料）を実施しています。受診券の有効期限が近くなっているので、お忘れなくご活用下さい。また、ご家族の皆さんもこの機会に、一度歯科健診を受けてみることをお勧めします!



すくすく教室 歯科指導の様子

受診券が見当たらない方は、**35-2120**へご連絡下さい♪

平成25年度歯科健診・フッ素塗布受診券

名前 _____ 生年月日 _____

保護者 _____

住所 _____

受診日	前年度(10-3月)	現年度(10-3月)
歯科医院		
次回	月曜受診しよう	月曜受診しよう



フッ素は歯を強くします!



保健福祉課
健康グループ
担当：吉田

	歯科医院		開院時間	
	歯科健診 フッ素塗布 歯科指導	近藤歯科医院	月～金	9:00～13:00
本通3丁目4番3号 TEL: 35-2538		土		9:00～13:00
中神歯科医院		月～金	9:00～12:00	14:00～18:00
南一条2丁目5番8号 TEL: 35-2456				

今月は、膝痛の予防・解消に効果的な
★膝すっきりのストレッチ★
を紹介します。

膝の痛みは多くの原因から成り立つものが多く、特に変形性膝関節症は、筋力の低下や肥満が原因ですので、筋トレや体重を落とすことが必要です。今回は、膝の柔軟性を高めるストレッチを紹介します。

※呼吸は止めないように行います。

この姿勢で10秒～30秒
程度保持しましょう。

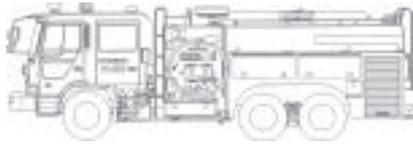


身体を後ろにゆっ
くり倒していく。

かかとはおしりの外側に。

膝は床につける。

【保健福祉課健康グループ 担当：松野】



消報

深山地区消防組合
深山消防署
沼田支署予防担当
TEL 35-2050

春の火災予防運動が始まります

4月20日から30日までの期間、春の火災予防運動が始まります。この運動は、空気が乾燥し強風が吹くなど火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的としています。

沼田消防では期間中、次の行事を実施しますので、皆様のご協力をお願いします。

- ① 期間中夜9時にサイレン吹鳴 ② 防火対象物の立入検査 ③ 消防団出動訓練
- ④ 全町防火パレード ⑤ 学校、事業所等での避難訓練の実施 ⑥ 夜間車両巡回



全国統一防火標語

消すまでは 心の警報 ONのまま



地域の防災ボランティア 消防団員募集

消防団は普段、自分の職業を持ちながら、災害時に消火・防災活動、避難誘導、警戒活動など地域のみなさんの安心・安全を守っています。しかし現状は、消防団員数は減少傾向にあり、団員の高齢化も進んでいます。

安心して暮らす為には、町民の協力はもちろん、地域に住み、地域を知っている消防団員のチカラが必要です。沼田消防団ではあなたのチカラを待っています。

入団資格

- ①沼田町に居住し、又は勤務する者
- ②年齢18歳以上の者
- ③身体強健な男性

消防団の主な行事・活動

- 4月 春の火災予防運動
- 7月 沼田消防演習
- 9月 沼田消防合同訓練
- 10月 秋の火災予防運動
- 1月 沼田消防出初式



入団に関するお問い合わせ先：消防団担当まで

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。

『後にしよう その油断が 火事になる』



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



春の全国交通安全運動が実施されます ～お互いにもてたらいいね 思いやり～

4月6日（日）から15日（火）までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。交通事故を防止するために、交通ルールについての理解を深め、交通マナーを実践しましょう。

運動の重点は、

- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
 - 2 自転車の安全利用の促進
 - 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用
 - 4 飲酒運転の根絶
- です。交通事故防止のポイントとして特に以下に注意しましょう。

【全ての座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用】

正しい着用が命を守ります。必ず全ての座席でシートベルト（子どもはチャイルドシート）を着用しましょう。

シートベルトの適応身長は135～140cm以上です。それより身長の小さなお子さんはチャイルドシートを使用しましょう。大切な子どもの命を守るため、年齢ではなく体型で判断しましょう。



【子どもと高齢者の交通事故防止】

- ・通園、通学する子どもたちを交通事故から守るために、家庭や地域の大人が手本となって、基本的なルールやマナーを教え、交通安全意識を高めていきましょう。
- ・交通事故死者数全体のうち、高齢者が約半数を占めています。ドライバーのみなさんは、思いやりのある安全運転を心がけましょう。

「振り込め詐欺」などの被害を防止しましょう ～ 落ち着こう 振り込む前に 相談を ～

振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害に遭わないためには、振り込む前にもう一度よく考えてみる事が大切です。

特に、こんなハナシのときは要注意！

- ①突然、家族から「電話番号が変わった」「お金を用立てて欲しい」という電話が来た
- ②医療費、年金の還付がある、と電話がきた
- ③電話のなかで携帯電話を持ってATMに行くように指示された
- ④身に覚えのないパンフレットが自宅に送られてきた
- ⑤「高値で買い取る」「必ず儲かる」などと儲けばなしを持ちかけられた

このような話は、詐欺の可能性が高いです。一人で対応しないで、必ず家族や警察署に相談しましょう。

沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

(2月末現在)

	事務所荒らし	倉庫荒し	忍び込み	万引き	置引き	タイヤ盗	オートバイ盗	軽油・灯油盗	自転車盗	鉄板盗	詐欺	合計
H26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
H25	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

交通事故の発生状況

町内における交通事故件数 (2月末現在)

人身事故		物損事故	
平成26年	0	平成26年	17
平成25年	0	平成25年	21

町民が町外で第1当事者となった人身事故件数 (2月末現在)

平成26年	0
平成25年	0

名残惜しくも・・・

高穂スキー場クローズしました！

生涯
学習

ゆめ
つくる



今年の冬も春の息吹が聞こえてくる季節になり、ウィンタースポーツの中核施設である高穂スキー場も営業を終了いたしました。今年も高穂スキー場では、町内外の学校授業やスキー学校のレッスン、スポーツクラブのスノーボード教室や体育協会主催の高穂スキー場祭りといった様々な教室やイベントが開催され、たくさんの方々にご利用いただきました。今年の営業は終了しましたが、高穂スキー場は今後も皆様に愛されるスキー場を目指していきます！



まだまだ楽しめます！ 歩くスキーで「滑り納め」しませんか？
明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

道北で一番最後の歩くスキーの集いが3月30日（日）に沼田町で開催されます！（会場：ほろ新温泉周辺特設コース）コースは2キロ・7キロ・13キロの3コースあり、2キロコースは親子で参加するにはちょうどいい距離です！当日受付も行っていますので、ぜひご参加ください！



司書のイチオシ! 『写真の撮り方ノート』



春が近づいてくると、行事が色々入ってきます。行事の中でも、卒業式や入学式といった節目の行事では、写真や映像をきちんと残しておきたいものですよ。

そこで、今回は写真の撮り方について載っている本を紹介します。

写真を撮るときに、ブレてしまったりピンボケしてしまったりして写真撮影が苦手という方もいるのではないのでしょうか。

今回紹介する本では、一般的なカメラの機能や持ち方から、基本的な撮り方などが載っています。また、撮影にこだわる方・可愛く撮りたい方用におすすめの本も図書館には置いています。

たとえば、写真を可愛く撮りたいときは逆行や反逆行をつかってふんわりとした感じにしてみたり、ホワイトバランスをつかうとオート設定とは違った雰囲気の写真を楽しむことができます。

デジカメや一眼レフの種類によっても機能などは変わりますが、基本的な使い方などを知りたいときは、ぜひ図書館の本を活用してみてください。

写真の撮り方に関する本は図書館にありますので、図書館に来館された際は、ぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

《一般書》

モタさんの“言葉”

昭和の犬

ひと呼んでミツコ

恋歌

潮鳴り

老いの戒め

獅子の城塞

月光の誘惑

きみはダイジョブ?

人生はニャンとかなる!

人生はワンチャンス!

うた恋い。 4巻

銀の匙 10巻

《児童書》

ポケモンをさがせ! ベストウィッシュ

発明大図鑑

ジャッキーのしんゆう

ぞうはどこへもいかない

ヘンテコリンおじさん

がまんのケーキ

松本 春野

姫野カオルコ

姫野カオルコ

朝井 まかて

葉室 麟

下重 暁子

佐々木 譲

赤川 次郎

石田 衣良

水野 敬也

水野 敬也

杉田 圭

荒川 弘

相原 和典

ジュリー・フェリス

あだち なみ

五味 太郎

みやにしたつや

かがくいひろし

新刊図書おすすめ!!

「ゼロ」 堀江 貴文



堀江貴文はなぜ、逮捕され、すべてを失っても希望を捨てないのか? ふたたび「ゼロ」となった著者が、「働くこと」の意味とそこから生まれる「希望」について、ありのままの心で語る。

「すぎのきとのぎく」 やなせ たかし



広い野原の真ん中に立つ杉の木。その根元に寄り添うように咲く野菊。嵐の晩、杉の木は野菊をかばうように雷にうたれ、倒れてしまう。悲しみの底にいた野菊に声をかけたのは…。

「キタキツネのおとうさん」 竹田津 実



家族に餌を運び、外敵から巣穴を守り、子どもを自立させるために教育しようとおとうさんはがんばります。北海道の大自然を背景に描く、おとうさんキタキツネの子育て奮闘記。

ワークショップで進める

「まちのこれからを考える会」

3月5日(水)に、沼田町健康福祉総合センター「ふれあい」で、「まちのこれからを考える会」が開かれました。

「まちのこれからを考える会」は、医療・福祉、住宅、買い物、移動などの課題に対応する必要がある事から、今後の沼田町を考え、より住みやすいまちづくりを目指し、沼田町農村型コンパクトエコタウン整備基本構想の策定に向け、町民からの意見を聞く為に、町が主催しました。

全国各地でまちづくりに携わっている構想策定委託業者の「株式会社Studio-L」の山崎亮社長は、「何歳の時、どうありたいか」「その実現の為に課題は何か」をテーマに考えてほしいと話がありました。

町民約50名の参加者は、9グループに分かれ、「ワークショップ」という話し合いの方法を用いて、ワークショップの基本ルールである「意見の批判をしない」「話を最後まで聞く」「全員が意見を出す」「面白い意見に便乗する」を守り、みんなが話しやすい雰囲気を作り出しました。

各グループでは、一人ひとりが付箋紙に自分の目標を書き、似ている意見をつなげ、関連性を見出していました。最後の発表では、話し合いの中で、一番盛り上がった内容を他のグループに伝え、「趣味を楽しむためには、仲間や健康を大切にしなければならない」などの意見が出されました。

沼田町農村型コンパクトエコタウン整備基本構想は、今回出された意見も参考に、3月末に完成予定で、4月以降も定期的に勉強会を開催し、町民と共に計画づくりが進められます。



二〇一四年三月二十七日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
 ◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 沼本 電話〇二六四―三五―二二一

今月号の赤ちゃんです。すくすく育ってね!

菅原 愛^{あみ}心^{こころ}ちゃん(長女)
 2月25日生まれ
 お父さん 秀太
 お母さん 優子



(緑ヶ丘)

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
大原 菊恵さん	2月14日	93歳	沼田1
尾谷 岩雄さん	2月19日	81歳	市内5
常本 和子さん	3月2日	81歳	市内4

人の動き

人口 3,401人(前月比 -9人)
 (男性 1,602人 女性 1,799人)
 65歳以上 1,303人(高齢化率38.3%)
 世帯数 1,584戸(前月比 -2戸)
 ○総人口増減内訳
 増加…転入: 2人 出生: 2人
 減少…転出: 8人 死亡: 5人
 (平成26年2月28日現在)

交通事故死ゼロ

601日
 継続中!

(平成26年3月1日現在)